

YOU テレビ コミュニティーチャンネル及びケーブルテレビ局

新・素敵音楽館

森の恵みを未来へ 前・後編

奈良吉野の林業

令和5年(2023)1月・2月放送

日本の財産である森林・木材の利用について先進的な事例を紹介する番組

みなさんは日本の森林・木材が今、「使いどき」になっているのをご存知ですか？先人たちが長い年月をかけて営んできた植林活動のおかげで、日本の森林は今とても豊かになっています。この番組は、全国的に話題になっている建築物や木材製品など、木材の利用についての先進的な事例を紹介し、木や森林への親しみを深めてもらい、その魅力を認知してもらうための番組です。



良質な「吉野材」の産地をめぐり、室町時代から寺院作りにかかわり 500 年以上先人たちが守ってきた森の恵みを、次世代に引き継ぐための取り組みを前・後編にわたって送る。

前編では川上村の林業地、吉野町にある「吉野杉の家」等を訪ね、吉野材の持つ魅力に迫る。吉野では密植と多間伐によりゆっくりと木をそだて、年輪幅が細かく木が高く節のない良質な杉を育てた。

又、吉野川を筏にして川を流してきて木材の検査をしてそのあと和歌山方面へ流していた。やがて検査だけでなく加工まで手掛けようと原木市場や製材所が立ち並ぶ吉野貯木場ができた。(右写真)製材加工技術から木の街吉野といわれた。山から木が出てくる循環をどう作るのが課題である。

年輪幅が狭く節のない長い吉野杉を生かした、三次曲線の「曲木の技法」を使い新しい用途を開発する木工作家の紹介がある。

後編では山の環境を守り現代の暮らしに寄り添う木の物づくりに挑み未来に結ぶ森庄銘木産業(株)(1927年創業)の杉や桧の木の皮を剥ぐ「磨き丸太技術」と和室床柱等の商品を紹介する。



木材を筏にして川を流していた。筏検査所
写真：「ふるさと吉野懐古写真集」より



第二第三水中貯木場及び製材工場
写真提供：成瀬匡章氏